

2023SUGO思いきり200分耐久レース

【 特別規則書 】

第1条	大会名称 2023 SUGO思いきり200分耐久レース	4.ドライバーの数は1~5名まで、車両は5台まで登録することができる、途中交換する場合は、指定ピットにて、セイフティ及び計測器を付替えなければならない。クラスは登録車中の最上位クラスに区分される。 5.単独車両で、ドライバー1名のチームは、1回以上の給油が義務付けとなります。	第20条	車両の整備について 1.参加車両はSUGOレーシングコースの走行に耐えうる車両で、且つ走行中トラブルなく走行できるよう完全に整備しなければならない。 2.車両の整備不良による重大な事故の原因を発生させたドライバーは次の大会の出場が制限される場合がある。
第2条	主催者 (有)大沼アーリング 〒981-1242宮城県名取市高館吉田字東真坂2-2 TEL.022-381-7021 FAX.022-381-7020	第11条 ドライバーの装備 ヘルメット、レーシングスーツ及びレーシングシューズを強く推奨するが、運転に適した難燃性(綿かニット)の長袖、長ズボン、スニーカーでも可。グローブはレーシンググローブを使用すること。	第21条	車両の改造について 1.純正燃料タンクの改造及びタンクの追加は許されない。 2.Rクラスの車両は燃料タンクをFIA公認の安全タンクに変更が出来る。 3.安全でないと判断された車両は出走を認めない。
第3条	開催場所 スポーツランド SUGO インターナショナル レーシング コース 宮城県柴田郡村田町菅生6-1	第12条 参加受付、ドライバーズブリーフィング 参加者は、タイムケイムに示された時間に従い参加受付をし、ドライバーズブリーフィングに必ず参加しなければならない。	第22条	競技の終了 1.競技の終了は200分経過後、トップ車両からチェックフラッグを提示される。 2.競技の時間に赤旗中断も含まれる。
第4条	開催日 2023年11月5日(日)	第13条 スターティングゲート 予選走行のベストラップタイム順で決定する。	第23条	セーフティカーフルコースション及び赤旗中断 競技が正常な状態で進行することが不可能になった場合、セーフティカーフルコースションが導入されると、全ての車両はセーフティカーフルコースションと黄旗が表示され、全ての車両はセーフティカーフルコースションの後に一列となり追い越しは禁止となる。セーフティカーフルコースションの直後の車両は緑の回転灯が点灯された場合のみセーフティカーフルコースションを追い越すことが許される。競技車両は自己のピットに停止できる。コースに復帰する際は、隊列の最後尾車両がPIT出口を通過した直後にPITエンドの信号が青でコースインが許される。 セーフティカーフルコースションが回転灯を滅灯してコースアウトシグナルタワーのグリーンランプ及び全ポストにおいて提示されるグリーンフラッグにより競技再開の合図が出され、その時点で追い越し可能となる。
第5条	参加申し込み 1.受付期間 9月6日(火)~10月26日(水) 2.受付場所 (有)大沼アーリング 〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字東真坂2-2 TEL.022-381-7021 FAX.022-381-7020 3.参加料 ①早割り 9月6日~10月4日(消印日有効) 1チーム 72,000円 ②通常料金 10月5日~ 1チーム 82,000円 4.申し込み方法 a) 参加申込書及び車両申告書に参加料を添えて現金書留にて受付場所に申し込むこと(締切日消印有効) b) 参加申込はチーム代表者が行い、チームに関して一切の責任を追うものとする。	第14条 スタート手順 1.スタートはローリングスタートとする。 2.スタート手順の詳細は公式通知にて告知する。	第6条	セーフティカーフルコースション導入が難しい場合は赤旗中断となります。 各コナーポストでは赤旗が掲示されるので速やかにピットロードに戻り係員の指示に従って下さい。この際ピットでの作業、ドライバーの交代は可能です。終了後は速やかに整列してください。 再スタートは、ローリングスタートで行います。セーフティカーフルコースションが回転灯を滅灯後コースアウトシグナルタワーのグリーンランプ点灯で競技が再開される。 スタートラインを通過するまでは追い越しは禁止される。
第6条	保険 ドライバーは大会当日、本競技に有効な生命保険に加入していること。 (アドバイザーでなければ通常の生命保険でOKです)	第15条 ペナルティ 1.ピットは決勝前に指定されたピットに移動しなければならない。 2.ピット内は常に整理整頓に心がけ、作業エリアに工具等を出すのはピットインの直前に行い、終了したら速やかに撤収しなければならず、こぼれた燃料、オイル等はふき取らなければならない。 3.ピットインする際はバーキング付近から合図を出しながらコース右側を走行してピットロードに入らなければならない。	第7条	決勝出走台数 50チーム(先着順受付)
第7条	レース 予選 10:00~10:30 決勝スタート 13:00~ 決勝ゴール 16:30	4.ピットロードではファーストピットトレーンを走行する車両が優先される。 5.ピットからファーストピットトレーンに出る時はチームクルーが誘導すること。 6.ピットエンドの信号が青の時ののみコースインすることができる。 7.ピットエンドトレーンから本コースに合流する際は、本コースを走行していく車両に充分注意し 4J-N-まではコースの右側を走行 すること。 8.3ポスト先の信号(青)は、本コース上の車両が迫ってきていることを知らせる為のものである。	第8条	上記セーフティカーフルコースション導入が難しい場合は赤旗中断となります。 各コナーポストでは赤旗が掲示されるので速やかにピットロードに戻り係員の指示に従って下さい。この際ピットでの作業、ドライバーの交代は可能です。終了後は速やかに整列してください。 再スタートは、ローリングスタートで行います。セーフティカーフルコースションが回転灯を滅灯後コースアウトシグナルタワーのグリーンランプ点灯で競技が再開される。 スタートラインを通過するまでは追い越しは禁止される。
第9条	ドライバーの参加資格及び登録人数 有効な運転免許証所持者で、サーキット走行に適応できる基本的な操作が可能な方とする。登録は1~5名までとする。	第16条 ピット 1.ピットは決勝前に指定されたピットに移動しなければならない。 2.ピット内は常に整理整頓に心がけ、作業エリアに工具等を出すのはピットインの直前に行い、終了したら速やかに撤収しなければならず、こぼれた燃料、オイル等はふき取らなければならない。 3.ピットインする際はバーキング付近から合図を出しながらコース右側を走行してピットロードに入らなければならない。	第10条	参加車両及びクラス区分 1.4輪自動車(但しフォーミュラ及びそれに準ずる車両は除く) オープンカーは、ロールバー必須。 2.改造は自由だが、安全でないと判断された個所については修正しなければ出走できない。 3.クラス区分 R1クラス(slickタイヤを使用する車両) R2クラス(Sタイヤ及びラジアルタイヤを使用するレース用車両) NS1クラス(排気量2700cc超のSタイヤを使用するNo.付車両) NS2クラス(排気量2700ccまでのSタイヤを使用するNo.付車両) NR1クラス(排気量2700cc超のノーマルラジアルタイヤを使用するNo.付車両) NR2クラス(排気量2700cc迄のノーマルラジアルタイヤを使用するNo.付車両) 加給機付(排気量×1.5)ローリー(排気量×1.4)とする ※上記クラス区分内で参加台数に満たない場合、主催者はクラス統合を行う場合がある。 ※タイヤ区分に関しては、別途定めるものとする。
第10条	第17条 燃料補給 1.それぞれのピットにおいて金属製の携行缶にて給油をしなければならない。 その際、消火器の準備をし、給油担当者は難燃素材の衣服を着用し 目を防護する眼鏡等 を着用していなければならない。 2.給油の際は安全のため必ずエンジンを停止しなければならない。 3.燃料補給時、同時に他の作業(ドライバーの乗降も含む)をしてはならない。 4.給油の際は、ボディーアースを強く推奨する。	第18条 車両交代 1.車両を交換をするチームは、次に出走する車両をPIT内に準備しなければならない。 2.走行してきた車両をPIT前に停止させ、トランスポンダを付替え、速やかに車両を第4ゲートからピット内に移動しなければならない。 3.交代したドライバーはファーストピットトレーンを走行していく車両がないことを確認しクルーの誘導でPITアウトすることが出来る。	第24条	順位の認定 順位はフィニッシュラインを通過しチェック旗を受け、規定時間内の周回数の多い順とし、同周回の場合はフィニッシュラインの通過順とする。(チェック優先)
第25条	参加者の遵守事項 1.コースはいかなる場合も逆走は禁止され、他の車両の走行を妨害したり危険な行為を行ってはならない。 2.全ての参加者は競技役員の指示に従わなければならず、主催者や役員及び他の参加者の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。	第26条	賞典び制限 クラス別に表彰盾が授与される。なお、台数により下記の通り制限される。 3台 ……1位のみ 4~5台 ……2位まで 6台以上…3位まで	
第27条	主催者特別出走枠 第7条の決勝出走台数に加え、主催者が許可する車両の出走枠を設けることができる。	第27条		

タイヤ区分の解釈について

最近、限りなくスリックタイヤやSタイヤに近い高性能ラジアルタイヤが販売されておりますが、たとえ公道走行可能であっても、当イベントでは「レース用タイヤ」とみなします。

・スリックタイヤの扱いとなるもの



TOYO PROXES RR



HANKOOK VENTUS Z214



KUMHO ECSTA V710



Hoosier A7 & R7 & H7

・Sタイヤの扱いとなるもの



NANKANG AR-1

※あくまでも一例です。区分が不明の場合は、大会事務局にお問合せください。